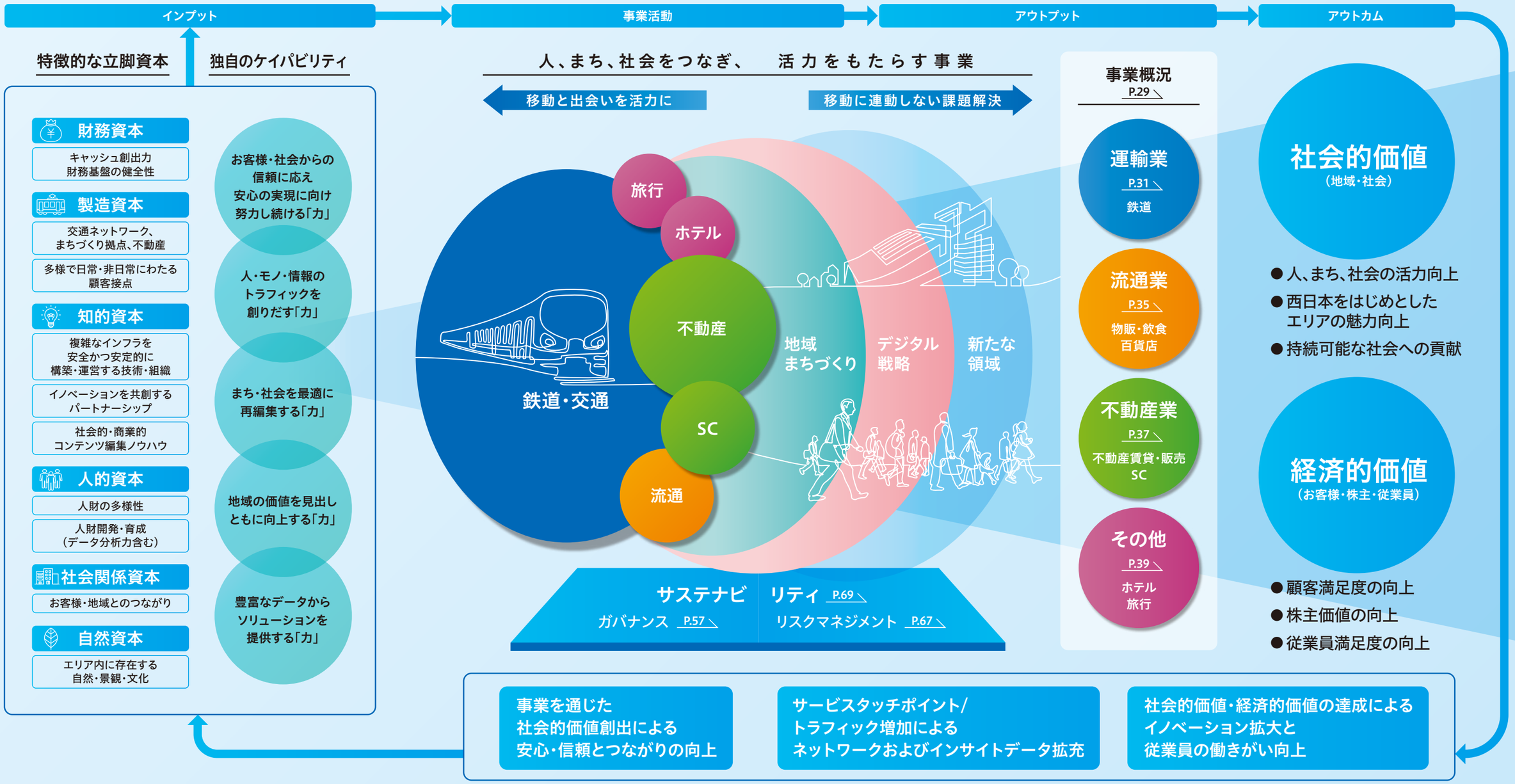
JR西日本グループの価値創造モデル

社会の構造や人々の価値観が大きく変わりつつある事業の転換期において、今後JR西日本グループがどのような価値を創造し続けるのか描いていくために、現在検討中の価値創造モデルを示しています。

ステークホルダー各々にとっての価値をさらに高めていくには、JR西日本グループがどのような事業領域を伸ばし、さらにはどのような新たな事業に挑戦することができるのか、ステークホルダーの皆様とともに議論を深めていきたいと考えています。

当社の事業活動について

JR西日本グループの現状のビジネスモデルは、鉄道の安全性・利便性を向上するとともに、鉄道を中心に駅周辺で人の流れを作り、商業や不動産でシナジーを高めています。コロナ禍を通じて不動産以外の事業は「移動」への連動性が高く、移動が縮小すれば共に厳しくなる事業構造が浮き彫りになりました。今後は、鉄道の活性化を図るべく、安全性の向上や収支両面の構造改革、新幹線を中心にした移動需要創出に取り組みます。また、地域まちづくりをさらに進め、シナジー拡大と需要を創り出すことも強化していきます。さらに、膨大な顧客接点を活かし、個客ニーズに寄り添ってシナジーの範囲拡大を図るデジタル戦略を進めます。加えて、これらの取り組みを通じた強みを活かして、移動に連動しない新たな事業領域にビジネスの幅を拡げていくことにより、「人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会」を実現していきます。